

みんなの社プリ～教科書太字の確認～ No. 17

近世の日本

<産業の発達と幕府政治の動き①>

- (1) 幕府や藩が用水路を建設したり、海・沼地を干拓したりして開発した耕地。
- (2) 幕府が銭座で鑄造させて全国に流通させた銅貨。
- (3) 幕府が整備した、江戸と京都を結ぶ東海道などの幹線道路。
- (4) 地図中の大阪と江戸を定期的に往復し、しょうゆや木綿、油を運んだ船。
- (5) 大阪と江戸を定期的に往復し、酒を運んだ船。
- (6) 東北・北陸地方の年貢米などを大阪に運んだ航路。
- (7) 東北・北陸地方の年貢米などを江戸に運んだ航路。
- (8) 江戸時代に繁栄した、江戸・大阪・京都の3つの都市をまとめた呼び名。
- (9) 全国の商業や金融の中心地であった大阪の呼び名。
- (10) 大阪に諸藩が置き、米や特産物などを運びこんだ建物。
- (11) 問屋・仲買などの大商人が作り、幕府の許可を得て営業を独占した同業者組織。
- (12) 生類憐みの令という極端な動物愛護令を出した、幕府の第5代将軍。
- (13) 儒学一派で、身分秩序を特に重んじる学問。
- (14) 18世紀初めに幕府の儀式を整え、貿易制限を行った儒学者。
- (15) 上方を中心に栄えた、町人をにない手とする新しい文化。
- (16) 武士や町人の生活を基に浮世草子と呼ばれる小説を書いた人物。
- (17) 実際に起きた心中事件などを題材に、人形浄瑠璃の台本を書いた人物。
- (18) 上方の坂田藤十郎、江戸の市川団十郎などの名優を出し、庶民の人気を集めた演劇。
- (19) 自己の内面を表現する、俳諧の新しい作風を生み出した人物。
- (20) 俵屋宗達の影響を受け、大和絵風のはなやかな装飾画を大成した人物。
- (21) 菱川師宣が始めた、町人の風俗をえがいた絵画。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	
(14)	
(15)	
(16)	
(17)	
(18)	
(19)	
(20)	
(21)	